

# 令和4年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	葎真クラブ
出席者	田原一孝・一木長博・宮川文憲・浅川裕康・内藤正之・小沢栄一・木内吉英
事業名	身延町の地域活性化施策について
事業区分	①研究研修 ②調査

## 1. 葎崎市での課題と研修・調査の目的

本市においては、特産品の開発や観光客の誘致による地域活性化が課題であるが、特産品である「あけぼの大豆」やTVアニメ「ゆるキャン△」とのコラボで地域活性化を図っている身延町で研修を受け、コワーキングスペースやオートキャンプ場等を整備して人気となっている「道の駅しもべ」の視察を行い、本市における今後の課題解決の参考にしたい。

## 2. 実施概要

実施日時	令和4年10月31日(月) 13:30~15:00
視察先	道の駅しもべ
担当部局	身延町議会事務局

### 1・身延町の概要

身延町は山梨県の南部に位置し、平成16年9月に下部町・中富町・身延町の3町が合併し新たに身延町として発足した。町の北にはなかとみ和紙の里、南には身延山久遠寺、東には下部温泉郷や富士五湖のひとつである本栖湖がある。特産品には、地理的表示(GI)保護制度に県内の農産物で初めて登録されたあけぼの大豆をはじめ、ゆば・竹炭・南天・西嶋和紙・手作りみそ・しいたけ・緑茶などがある。

町の面積は301.98平方キロメートルで、山梨県の面積の6.8%を占めている。町の中央を北から南に日本三大急流のひとつである「富士川」が流れ、周囲を緑豊かな山々に囲まれた自然あふれる町である。

令和4年8月1日現在の人口は10,506名で、世帯数は5,172戸となっている。なお、65歳以上が5,121名で高齢化率48.74%と高齢化が進んでおり、高齢化率は山梨県下27市町村で最も高い数値となっている。

### 2・施設概要

国道300号線沿いにある下部農村文化公園に「道の駅しもべ」が併設されている。トイレ利用や売店機能のほか、車で直接サイトに乗り入れができるキャンプ施設・シャワー室・バーベキュー施設・味噌づくり体験施設・授乳室・バイク専用の駐車スペース・フリーWi-Fi等を完備した施設がある。

自然の中でストレスなく仕事ができるテレワークスペース等を併設し、道の駅の機能との相乗効果により、特色ある道の駅となっている。

中部横断自動車道も開通し、魅力ある道の駅として富士五湖地域と峡南エリアの中継点としての役割を發揮している。

報告内容

### 3・運営状況

#### ◆ふるさと振興館

物産館では、下部町の伝統の品である「下部味噌」と「下部小梅」をはじめ、下部味噌を使った加工品や、漬物コーナーも品数が豊富で、さまざまな物産品が販売されている。

#### ◆バーベキューサイト

バーベキュー施設では、食品の持ち込みもできるが、予約制でジビエのセット等も購入でき、バーベキュー用品についてはレンタルも可能で、手ぶらで行ってもバーベキューを楽しむことができる。

#### ◆コワーキングスペース

自然の中で子供たちを遊ばせながら、合間にメールの確認や仕事をする事が可能。フリーWi-Fiも完備されており、必要に応じて高速通信（有料）の利用も可能となっている。貸し切りの料金設定もあり、テレビ会議に対応したミーティングルームや和室の会議室を備えており、商談や打ち合わせも可能となっている。また、プリンターやテレビ会議用周辺機器のレンタルも行っており、長時間の滞在中に荷物を預けることができる「無料ロッカー」のご用意もある。

#### ◆キャンプサイト

TVアニメ「ゆるキャン△」とコラボした「道の駅しもべオートキャンプ場～ゆるキャン△の里～」が7月16日にオープンした。定員6名までのAサイト、Bサイトとソロキャンプに最適なCサイトがある。

### 4・考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）

道の駅しもべでの研修において、担当者から地域活性化施策について（施策に至った経緯・予算状況と進捗状況及び効果・今後の課題並びに予定等）の説明を受け、現地視察を行った。

身延町では、地域資源を活かした取り組みや、さまざまな観光施策が推し進められており、地域活性化施策が進んでいることが分かった。

身延町の取り組みを参考にしながら、引き続き調査・研究を進め、本市における地域活性化施策に活かしたい。

感想（まとめ）  
・ 市政に活かせること



※写真等がある場合は添付すること